

厚生労働省大臣官房統計情報部
担当係：社会統計課社会医療統計第一係
電話：03-5253-1111 (内線：7559)
03-3595-2918 (ダイヤル)

平成16年社会医療診療行為別調査結果の概況

目 次

調査の概要	1頁
結果の概要	
I 診療行為・調剤行為の状況	
〔医科診療〕	
1 診療行為の状況	3
2 一般医療と老人医療別にみた診療行為の状況	5
3 病院と診療所別にみた診療行為の状況	7
4 傷病分類別にみた1日当たり点数の状況	9
〔歯科診療〕	
5 診療行為の状況	10
6 一般医療と老人医療別にみた診療行為の状況	11
7 傷病分類別にみた1日当たり点数の状況	12
〔院外処方〕	
8 院外処方率	12
〔薬局調剤〕	
9 調剤行為の状況	13
II 薬剤の使用状況	
〔薬剤料の比率〕	
1 薬剤料の比率	14
〔医科診療〕	
2 入院外の投薬における薬剤点数の状況	15
3 入院外の投薬における薬価階級別薬剤点数の状況	16
4 入院外の投薬における薬剤種類数の状況	17
5 薬効分類別にみた薬剤使用の状況(入院・入院外)	18
〔薬局調剤〕	
6 薬剤点数の状況	19
7 薬価階級別薬剤点数の状況	20
8 薬剤種類数の状況	21
9 薬効分類別にみた薬剤使用の状況	22
統計表	23
用語の定義	32

平成16年社会医療診療行為別調査の結果は、厚生労働省のホームページにも掲載しています。
ホームページアドレス(<http://www.mhlw.go.jp/>)

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、政府管掌健康保険(以下「政管健保」という。)、組合管掌健康保険(以下「組合健保」という。)及び国民健康保険(以下「国保」という。)における医療の給付の受給者にかかる診療行為の内容、傷病の状況、調剤行為の内容及び薬剤の使用状況等を明らかにし、医療保険行政に必要な基礎資料を得ることを目的とした。

2 調査の範囲

各都道府県の社会保険診療報酬支払基金支部(以下「支払基金支部」という。)及び国民健康保険団体連合会(以下「国保団体連合会」という。)において、審査決定された政管健保、組合健保及び国保の一般医療及び老人医療の医科診療及び歯科診療の診療報酬明細書及び調剤報酬明細書(以下「明細書」という。)を調査の対象とした。

調査の客体は、第一次抽出単位を保険医療機関及び保険薬局とし、第二次抽出単位を明細書とする層化無作為二段抽出法により抽出された明細書とした。

	施設数	明細書件数		
		総数	一般医療	老人医療
医科	10 342	380 069	219 258	160 811
病院	1 145	136 608	77 658	58 950
診療所	9 197	243 461	141 600	101 861
歯科	721	22 786	12 545	10 241
調剤	3 941	77 861	43 301	34 560

3 調査の時期

平成16年6月審査分

4 調査の事項

診療報酬明細書 …… 年齢、傷病名、診療実日数、診療行為別点数・回数及び薬剤の使用状況(薬品名・使用量等)等

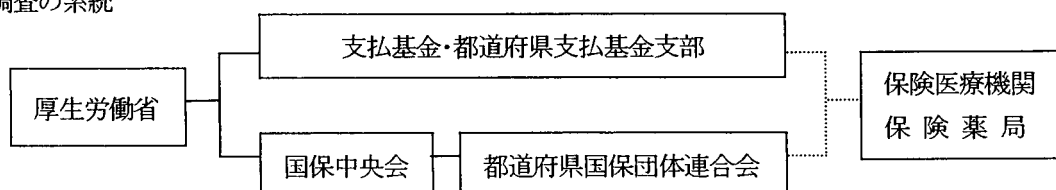
調剤報酬明細書 …… 年齢、処方せん受付回数、調剤行為別点数・回数及び薬剤の使用状況(薬品名・使用量等)等

5 調査の方法及び系統

(1) 調査の方法

支払基金支部及び国保団体連合会が、調査の対象となった保険医療機関及び保険薬局の明細書から別に定める抽出率により抽出を行い、その写しを厚生労働省大臣官房統計情報部に提出する方法により行った。

(2) 調査の系統



6 結果の集計

集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

7 利用上の注意

(1) 表章記号の規約

計数のない場合	—	数値が表章単位に満たない場合	0.0
統計項目のありえない場合	・	負数の場合	△

(2) 掲載の数値は四捨五入のため、内訳の合計が総数に合わない場合がある。

(3) この概況に掲載の数値は、政管健保、組合健保及び国保における平成16年6月審査分の全国推計数である。

(参考)

1 診療報酬点数表及び薬価基準改定の状況

○ 実施時期 平成16年4月1日

○ 改定幅 全体改定率 △1.0%

(1) 診療報酬改定

改定率 ±0%

(2) 薬価改定等

改定率 △1.0%

ア 薬価改定

改定率 △0.9% (薬価ベース△4.2%)

イ 材料価格改定

改定率 △0.1%

2 診断群分類による包括評価制度 (DPC) について

16年調査実施時点では、大学病院の本院、国立がんセンター及び国立循環器病センターの計82施設 (15年調査時点では経過措置期間内のため、24施設) 及び16年4月から開始されたDPC試行的適用の対象病院51施設のうち8施設 (経過措置期間内のため) において、医科一般病棟の入院について診断群分類における包括評価請求が行われている。

注) 診療行為分類「診断群分類による包括評価等」には、包括評価の所定点数に、特定入院料に関する加算及び未実施減算を含む。

結果の概要

I 診療行為・調剤行為の状況

〔医科診療〕

1 診療行為の状況

(1) 入院における1件当たり点数は35,866.7点で、前年に比べ1,328.3点、3.8%増加している。

1日当たり点数は2,167.3点で、前年に比べ10.9点、0.5%減少している。診療行為別にみると、「入院料等」1,271.8点(構成割合58.7%)が最も高く、次いで「手術」247.5点(11.4%)、「注射」137.2点(6.3%)の順となっている。

1件当たり日数は16.55日で、前年に比べ0.69日増加している。(表1、図1)

表1 診療行為別にみた入院の1件当たり点数、1日当たり点数、1件当たり日数

(各年6月審査分)

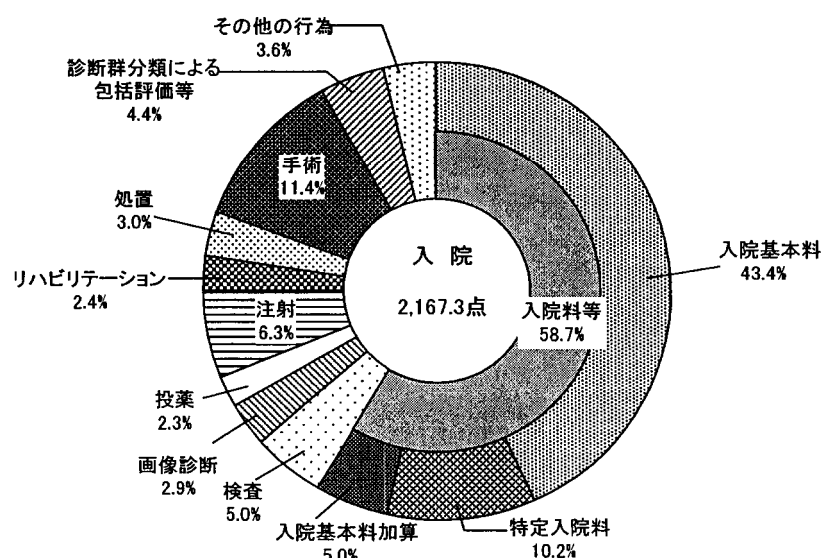
診療行為	1件当たり点数				1日当たり点数			
	平成16年	平成15年	対前年比		平成16年	平成15年	対前年比	
			増加点数	増加率(%)			増加点数	増加率(%)
総数	35 866.7	34 538.5	1 328.3	3.8	2 167.3	2 178.2	△ 10.9	△ 0.5
初診	49.0	54.3	△ 5.3	△ 9.7	3.0	3.4	△ 0.5	△ 13.5
再診	311.0	343.8	△ 32.8	△ 9.5	18.8	21.7	△ 2.9	△ 13.3
指導管理	55.8	59.8	△ 4.0	△ 6.7	3.4	3.8	△ 0.4	△ 10.6
在宅医療	1 790.2	2 109.7	△ 319.5	△ 15.1	108.2	133.1	△ 24.9	△ 18.7
検査	1 025.9	1 212.2	△ 186.3	△ 15.4	62.0	76.5	△ 14.5	△ 18.9
画像診断	811.0	896.6	△ 85.6	△ 9.5	49.0	56.5	△ 7.5	△ 13.3
投薬	2 270.7	2 508.7	△ 238.1	△ 9.5	137.2	158.2	△ 21.0	△ 13.3
注射	875.0	710.6	164.3	23.1	52.9	44.8	8.1	18.0
リハビリテーション	186.2	167.3	18.9	11.3	11.2	10.6	0.7	6.6
精神科専門療法	1 093.6	967.3	126.3	13.1	66.1	61.0	5.1	8.3
処置	4 096.2	3 899.7	196.6	5.0	247.5	245.9	1.6	0.6
手術	598.1	620.3	△ 22.2	△ 3.6	36.1	39.1	△ 3.0	△ 7.6
麻酔	88.4	144.4	△ 56.1	△ 38.8	5.3	9.1	△ 3.8	△ 41.4
放射線治療	21 047.0	20 542.7	504.2	2.5	1 271.8	1 295.5	△ 23.8	△ 1.8
入院料等	1 568.6	300.8	1 267.8	421.4	94.8	19.0	75.8	399.6
診断群分類による包括評価等								
(1件当たり日数)	(16.55)	(15.86)						
入院時食事療養(単位:円)	33 409	31 953	1 456	4.6	2 019	2 015	4	0.2

注:1)入院時食事療養は、「総数」には含まない。

2)「診断群分類による包括評価等」の対象は、平成16年90施設、平成15年24施設である。

図1 診療行為別にみた入院の1日当たり点数の構成割合

(平成16年6月審査分)



注:その他の行為は、「初・再診」「指導管理等」「在宅医療」「精神科専門療法」「麻酔」及び「放射線治療」である。

(2) 入院外における1件当たり点数は1,276.3点で、前年に比べ24.5点、2.0%増加している。

1日当たり点数は680.6点で、前年に比べ45.6点、7.2%増加している。診療行為別にみると、「投薬」153.7点(構成割合22.6%)が最も高く、次いで「初・再診」126.8点(18.6%)、「検査」108.1点(15.9%)の順となっている。

1件当たり日数は1.88日で、前年に比べ0.10日減少している。(表2、図2)

表2 診療行為別にみた入院外の1件当たり点数、1日当たり点数、1件当たり日数

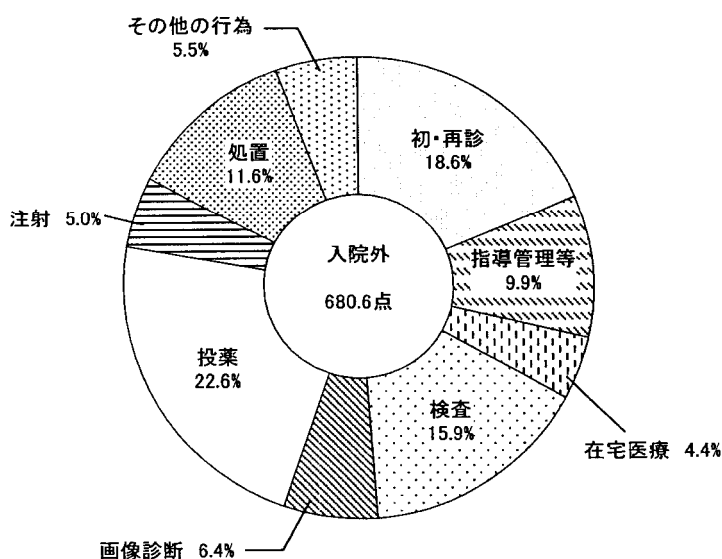
(各年6月審査分)

診療行為	1件当たり点数				1日当たり点数			
	平成16年	平成15年	対前年比		平成16年	平成15年	対前年比	
			増加点数	増加率(%)			増加点数	増加率(%)
総数	1 276.3	1 251.8	24.5	2.0	680.6	635.1	45.6	7.2
初・再診	237.7	238.4	△ 0.7	△ 0.3	126.8	121.0	5.8	4.8
指導管理等	126.8	125.1	1.8	1.4	67.6	63.4	4.2	6.6
在宅医療	56.3	59.9	△ 3.6	△ 6.1	30.0	30.4	△ 0.4	△ 1.3
検査	202.7	201.1	1.6	0.8	108.1	102.0	6.1	5.9
画像診断	81.4	84.2	△ 2.9	△ 3.4	43.4	42.7	0.7	1.5
投薬	288.3	302.3	△ 14.0	△ 4.6	153.7	153.4	0.4	0.3
注射	64.4	68.6	△ 4.2	△ 6.1	34.4	34.8	△ 0.5	△ 1.3
リハビリテーション	11.2	10.4	0.8	7.6	6.0	5.3	0.7	13.1
精神科専門療法	25.1	19.4	5.7	29.4	13.4	9.8	3.5	36.0
処置	147.8	112.3	35.5	31.6	78.8	57.0	21.8	38.3
手術	25.0	23.4	1.6	6.6	13.3	11.9	1.4	12.1
麻酔	6.2	4.5	1.7	37.4	3.3	2.3	1.0	44.4
放射線治療	3.3	1.9	1.3	69.0	1.7	1.0	0.8	77.7
(1件当たり日数)	(1.88)	(1.97)						

注:「総数」には「入院料等(短期滞在手術基本料1)」を含む。

図2 診療行為別にみた入院外の1日当たり点数の構成割合

(平成16年6月審査分)



注:その他の行為は、「リハビリテーション」「精神科専門療法」「手術」「麻酔」「放射線治療」及び「入院料等」である。

2 一般医療と老人医療別にみた診療行為の状況

(1) 入院における1件当たり点数は、一般医療 32,876.9 点、老人医療 39,206.0 点となっている。

1日当たり点数は、一般医療 2,280.6 点、老人医療 2,070.9 点で、年齢階級別にみると、「0～14 歳」2,912.2 点が最も高く、次いで「70～79 歳」2,335.5 点となっており、「80 歳以上」1,916.3 点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、老人医療は、一般医療と比べ「入院料等」「処置」の割合が多く、「診断群分類による包括評価等」「手術」の割合は少なくなっている。

1件当たり日数は、一般医療 14.42 日、老人医療 18.93 日となっている。(表3、図3)

表3 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた入院の診療行為別
1件当たり点数、1日当たり点数、1件当たり日数

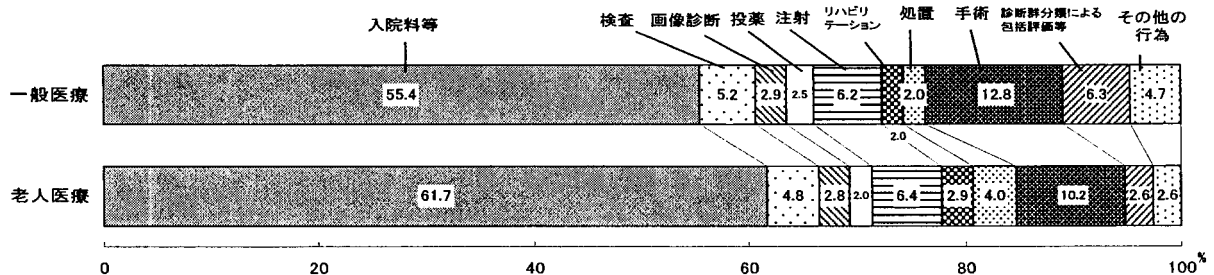
(平成16年6月審査分)

診療行為	一般医療	老人医療	年齢階級				
			0～14歳	15～39歳	40～69歳	70～79歳	80歳以上
1 件 当 た り 点 数							
総初指	32 876.9	39 206.0	21 109.9	24 374.4	37 462.0	40 537.9	38 047.6
・再診	58.1	38.8	111.5	76.4	42.5	38.2	41.3
・指導管理	314.1	307.6	163.8	286.6	340.2	341.6	284.8
在宅医療	39.6	73.8	16.7	16.3	54.6	91.6	50.6
検査	1 715.7	1 873.5	903.1	1 216.8	1 945.6	2 221.5	1 632.8
画像診断	946.2	1 115.0	279.3	600.4	1 117.6	1 311.7	994.6
投薬	822.2	798.6	213.6	603.5	984.4	923.9	693.8
注射	2 054.6	2 512.0	1 156.1	1 283.0	2 341.1	2 722.6	2 467.7
リハビリテーション	651.0	1 125.2	227.9	309.3	825.6	1 161.5	1 087.1
精神科専門療	270.7	91.7	9.6	263.5	330.2	110.8	59.8
処置	670.2	1 566.4	323.5	340.1	1 007.1	1 473.2	1 387.0
手術	4 192.9	3 988.2	1 003.7	2 881.3	4 847.3	5 549.5	2 912.6
麻酔	750.2	428.3	674.8	720.6	730.0	635.0	300.9
放射線治療	104.5	70.3	3.5	46.6	124.3	139.8	27.5
入院料等	18 227.3	24 196.2	14 328.4	14 063.7	20 603.4	22 125.4	25 566.7
診断群分類による包括評価等	2 059.4	1 020.4	1 694.0	1 666.3	2 167.7	1 691.8	540.2
1 日 当 た り 点 数							
総初指	2 280.6	2 070.9	2 912.2	2 149.6	2 211.8	2 335.5	1 916.3
・再診	4.0	2.0	15.4	6.7	2.5	2.2	2.1
・指導管理	21.8	16.2	22.6	25.3	20.1	19.7	14.3
在宅医療	2.7	3.9	2.3	1.4	3.2	5.3	2.5
検査	119.0	99.0	124.6	107.3	114.9	128.0	82.2
画像診断	65.6	58.9	38.5	53.0	66.0	75.6	50.1
投薬	57.0	42.2	29.5	53.2	58.1	53.2	34.9
注射	142.5	132.7	159.5	113.1	138.2	156.9	124.3
リハビリテーション	45.2	59.4	31.4	27.3	48.7	66.9	54.8
精神科専門療	18.8	4.8	1.3	23.2	19.5	6.4	3.0
処置	46.5	82.7	44.6	30.0	59.5	84.9	69.9
手術	290.9	210.7	138.5	254.1	286.2	319.7	146.7
麻酔	52.0	22.6	93.1	63.6	43.1	36.6	15.2
放射線治療	7.3	3.7	0.5	4.1	7.3	8.1	1.4
入院料等	1 264.4	1 278.0	1 976.6	1 240.3	1 216.5	1 274.7	1 287.7
診断群分類による包括評価等	142.9	53.9	233.7	147.0	128.0	97.5	27.2
1 件 当 た り 日 数							
	14.42	18.93	7.25	11.34	16.94	17.36	19.85
入院時食事療養(単位:円)							
1件当たり金額	29 009	38 323	12 279	22 072	34 816	35 453	39 735
1日当たり金額	2 012	2 024	1 694	1 947	2 056	2 043	2 001

注:1)「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。
2)入院時食事療養は、「総数」には含まない。

図3 一般医療 - 老人医療別にみた入院の診療行為別1日当たり点数の構成割合

(平成16年6月審査分)



注:その他の行為は、「初・再診」「指導管理等」「在宅医療」「精神科専門療法」「麻酔」及び「放射線治療」である。

(2) 入院外における1件当たり点数は、一般医療 1,145.8 点、老人医療 1,607.4 点となっている。

1日当たり点数は、一般医療 659.9 点、老人医療 721.6 点で、年齢階級別にみると、「40～69 歳」768.2 点が最も高く、次いで「70～79 歳」680.8 点となっており、「0～14 歳」472.6 点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、老人医療は、一般医療と比べ「在宅医療」「投薬」の割合が多く、「初・再診」「検査」の割合は少なくなっている。

1件当たり日数は、一般医療 1.74 日、老人医療 2.23 日となっている。(表4、図4)

表4 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた入院外の診療行為別
1件当たり点数、1日当たり点数、1件当たり日数

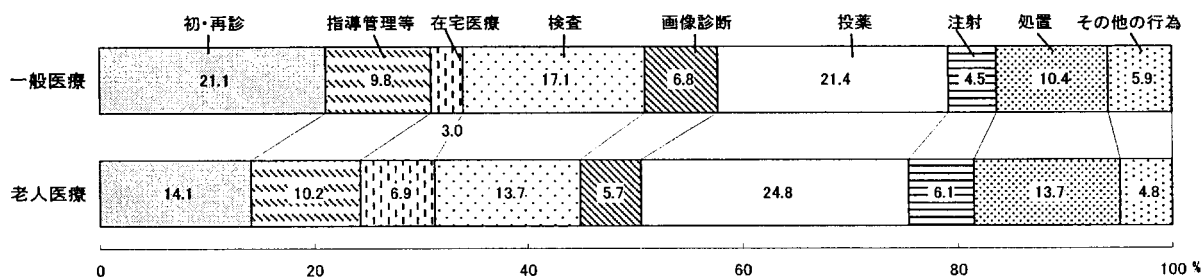
(平成16年6月審査分)

診療行為	一般医療	老人医療	年齢階級				
			0～14歳	15～39歳	40～69歳	70～79歳	80歳以上
1 件 当 た り 点 数							
総数	1 145.8	1 607.4	778.4	909.7	1 410.9	1 489.5	1 508.8
初診	241.9	227.3	310.2	247.5	220.3	228.9	221.4
・再診	112.5	163.2	134.4	33.8	139.3	157.0	160.2
指導管理	34.6	111.5	27.8	16.6	48.2	68.1	163.7
在宅医療	195.7	220.5	88.2	203.6	222.3	233.0	198.0
検査	77.4	91.4	30.2	63.4	95.1	100.9	78.0
画像診断	244.8	398.8	117.4	172.7	308.0	384.9	405.2
投薬	51.5	97.3	7.4	26.9	76.4	90.8	93.2
注射	8.8	17.3	6.6	5.4	10.3	19.3	12.8
リハビリテーション	29.0	15.2	2.4	54.2	27.5	14.0	18.0
精神科専門療法	119.3	220.0	38.8	63.5	224.3	148.5	117.8
処置	22.9	30.4	15.1	16.9	28.4	29.0	28.7
手術	3.9	12.0	0.0	2.9	5.0	12.2	10.6
麻酔	3.6	2.4	-	2.2	5.7	2.6	0.9
放射線治療							
1 日 当 た り 点 数							
総数	659.9	721.6	472.6	595.4	768.2	680.8	679.7
初診	139.3	102.0	188.3	162.0	119.9	104.6	99.7
・再診	64.8	73.3	81.6	22.1	75.8	71.8	72.2
指導管理	19.9	50.0	16.9	10.9	26.3	31.1	73.8
在宅医療	112.7	99.0	53.6	133.3	121.0	106.5	89.2
検査	44.6	41.0	18.3	41.5	51.8	46.1	35.1
画像診断	141.0	179.0	71.3	113.1	167.7	175.9	182.5
投薬	29.7	43.7	4.5	17.6	41.6	41.5	42.0
注射	5.1	7.8	4.0	3.5	5.6	8.8	5.8
リハビリテーション	16.7	6.8	1.4	35.5	15.0	6.4	8.1
精神科専門療法	68.7	98.8	23.5	41.6	122.1	67.9	53.1
処置	13.2	13.7	9.2	11.1	15.4	13.3	12.9
手術	2.2	5.4	0.0	1.9	2.7	5.6	4.8
麻酔	2.1	1.1	-	1.4	3.1	1.2	0.4
放射線治療							
1 件 当 た り 日 数							
	1.74	2.23	1.65	1.53	1.84	2.19	2.22

注: 1)「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。
2)「総数」には「入院料等(短期滞在手術基本料1)」を含む。

図4 一般医療 - 老人医療別にみた入院外の診療行為別1日当たり点数の構成割合

(平成16年6月審査分)



注: その他の行為は、「リハビリテーション」「精神科専門療法」「手術」「麻酔」「放射線治療」及び「入院料等」である。

3 病院と診療所別にみた診療行為の状況

(1) 入院における1件当たり点数は、病院 37,387.1 点、診療所(有床)15,873.2 点となっている。

1日当たり点数は、病院 2,218.8 点、診療所(有床)1,260.4 点で、病院について種類別にみると、「特定機能病院」3,879.3 点が最も高く、次いで「一般病院」2,847.4 点となっており、「精神病院」1,059.7 点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、「療養病床を有する病院」は、「一般病院」と比べ「入院料等」の割合が多くなっている。

1件当たり日数は、病院 16.85 日、診療所(有床)12.59 日となっている。(表5、図5)

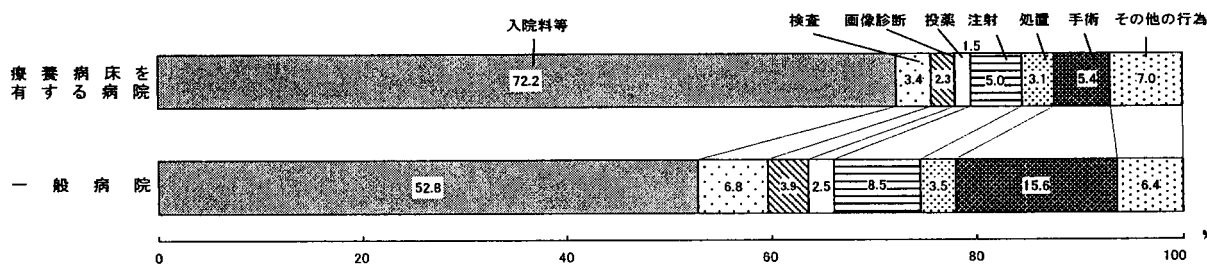
表5 病院 - 診療所(有床)別にみた入院の診療行為別1件当たり点数、1日当たり点数、1件当たり日数

診療行為	病院					診療所(有床)
	総数	精神病院	特定機能病院	療養病床を有する病院	一般病院	
	(平成16年6月審査分)					
	1 件 当 た り 点 数					
総数	37 387.1	30 851.6	51 471.5	37 829.7	36 995.9	15 873.2
初診	50.6	3.8	50.6	44.6	63.2	27.6
再診	325.6	131.3	304.1	306.3	376.6	119.6
指導管理	57.4	0.0	77.9	43.7	74.6	34.5
在宅医療	1 845.4	395.7	1 066.1	1 291.6	2 531.5	1 064.8
検査	1 077.8	59.6	435.8	881.8	1 453.9	344.5
画像診断	831.8	1 266.5	611.0	576.4	922.0	537.9
投薬	2 349.0	167.9	1 449.8	1 889.5	3 131.7	1 240.2
注射	924.4	20.1	328.0	1 814.1	627.1	225.0
リハビリテーション	199.9	1 340.8	40.8	107.2	51.0	5.3
精神科専門療法	1 097.7	222.9	468.3	1 182.0	1 278.0	1 039.2
処置	4 171.0	3.4	8 853.7	2 046.4	5 779.1	3 113.2
手術	620.9	2.3	1 691.8	281.9	836.6	299.3
麻酔	95.1	-	475.5	36.5	110.8	0.0
放射線治療	22 052.7	27 237.3	5 626.5	27 317.6	19 533.5	7 821.0
入院料等	1 687.9	-	29 993.3	9.9	226.1	-
診断群分類による包括評価等	-	-	-	-	-	-
	1 日 当 た り 点 数					
総数	2 218.8	1 059.7	3 879.3	1 896.3	2 847.4	1 260.4
初診	3.0	0.1	3.8	2.2	4.9	2.2
再診	19.3	4.5	22.9	15.4	29.0	9.5
指導管理	3.4	0.0	5.9	2.2	5.7	2.7
在宅医療	109.5	13.6	80.4	64.7	194.8	84.5
検査	64.0	2.0	32.8	44.2	111.9	27.4
画像診断	49.4	43.5	46.0	28.9	71.0	42.7
投薬	139.4	5.8	109.3	94.7	241.0	98.5
注射	54.9	0.7	24.7	90.9	48.3	17.9
リハビリテーション	11.9	46.1	3.1	5.4	3.9	0.4
精神科専門療法	65.1	7.7	35.3	59.2	98.4	82.5
処置	247.5	0.1	667.3	102.6	444.8	247.2
手術	36.8	0.1	127.5	14.1	64.4	23.8
麻酔	5.6	-	35.8	1.8	8.5	0.0
放射線治療	1 308.8	935.5	424.1	1 369.3	1 503.4	621.0
入院料等	100.2	-	2 260.5	0.5	17.4	-
診断群分類による包括評価等	-	-	-	-	-	-
	1 件 当 た り 日 数					
総数	16.85	29.11	13.27	19.95	12.99	12.59
入院時食事療養(単位:円)						
1件当たり金額	34 390	62 177	25 312	42 162	25 298	20 509
1日当たり金額	2 041	2 136	1 908	2 113	1 947	1 629

注: 1) 病院の「総数」には、結核療養所を含む。
2) 入院時食事療養は、「総数」には含まない。

図5 療養病床を有する病院 - 一般病院別にみた入院の診療行為別1日当たり点数の構成割合

(平成16年6月審査分)



注: その他の行為は、「初・再診」「指導管理等」「在宅医療」「リハビリテーション」「精神科専門療法」「麻酔」「放射線治療」及び「診断群分類による包括評価等」である。

(2) 入院外における1件当たり点数は、病院 1,477.8 点、診療所 1,172.9 点となっている。

1日当たり点数は、病院 896.5 点、診療所 588.9 点で、病院について種類別にみると、「特定機能病院」1,118.7 点が最も高く、次いで「一般病院」968.0 点となっており、「療養病床を有する病院」735.4 点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、診療所は、病院と比べ「初・再診」「指導管理等」の割合が多く、「画像診断」「検査」の割合は少なくなっている。

1件当たり日数は、病院 1.65 日、診療所 1.99 日となっている。(表6、図6)

表6 病院 - 診療所別にみた入院外の診療行為別1件当たり点数、1日当たり点数、1件当たり日数

(平成16年6月審査分)

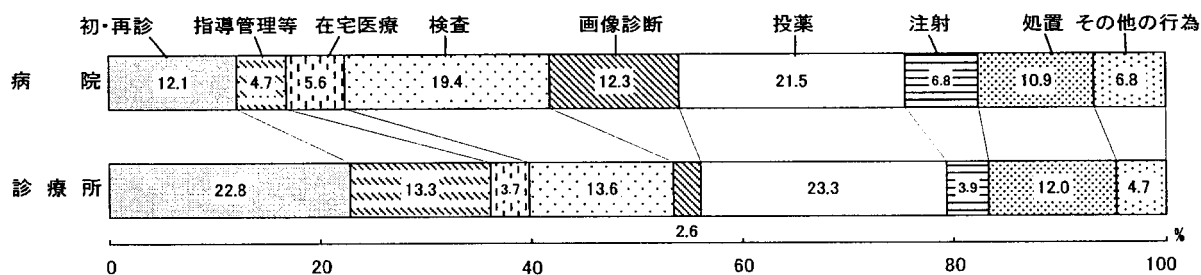
診療行為	病 院					診療所
	総数	精神病院	特定機能病院	療養病床を有する病院	一般病院	
	1 件 当 た り 点 数					
総数	1 477.8	1 640.6	1 491.7	1 377.9	1 514.4	1 172.9
初・再診	178.9	159.5	126.1	202.5	174.7	268.0
指導管理等	69.9	36.5	44.9	80.9	69.0	156.1
在宅医療	82.2	7.0	110.4	70.2	87.4	43.0
検査	286.2	55.3	380.9	227.6	311.3	159.8
画像診断	181.1	12.8	245.3	143.9	197.3	30.2
投薬	317.3	565.1	310.4	299.6	316.2	273.4
注射	100.5	13.3	137.8	75.4	111.1	45.9
リハビリテーション	16.3	1.1	5.0	26.6	13.5	8.6
精神科専門療法	36.5	789.0	22.6	26.3	13.0	19.3
処置	160.8	0.7	34.1	187.6	168.6	141.1
手術	34.4	0.0	50.4	29.3	36.4	20.2
麻酔	4.0	0.3	5.1	5.6	3.3	7.3
放射線治療	9.6	-	18.8	2.4	12.2	0.0
	1 日 当 た り 点 数					
総数	896.5	783.5	1 118.7	735.4	968.0	588.9
初・再診	108.5	76.2	94.5	108.1	111.7	134.5
指導管理等	42.4	17.4	33.7	43.2	44.1	78.4
在宅医療	49.9	3.3	82.8	37.5	55.9	21.6
検査	173.6	26.4	285.7	121.5	198.9	80.3
画像診断	109.8	6.1	184.0	76.8	126.1	15.2
投薬	192.5	269.9	232.8	159.9	202.1	137.3
注射	60.9	6.4	103.3	40.2	71.0	23.1
リハビリテーション	9.9	0.5	3.8	14.2	8.6	4.3
精神科専門療法	22.1	376.8	17.0	14.1	8.3	9.7
処置	97.5	0.3	25.6	100.1	107.8	70.8
手術	20.9	0.0	37.8	15.6	23.2	10.1
麻酔	2.4	0.1	3.8	3.0	2.1	3.7
放射線治療	5.8	-	14.1	1.3	7.8	0.0
	1 件 当 た り 日 数					
	1.65	2.09	1.33	1.87	1.56	1.99

注: 1) 病院の「総数」には、結核療養所を含む。

2) 「総数」には「入院料等(短期滞在手術基本料1)」を含む。

図6 病院 - 診療所別にみた入院外の診療行為別1日当たり点数の構成割合

(平成16年6月審査分)



注: その他の行為は、「リハビリテーション」「精神科専門療法」「手術」「麻酔」「放射線治療」及び「入院料等」である。

4 傷病分類別にみた1日当たり点数の状況

入院における傷病分類別1日当たり点数は、一般医療、老人医療とも「Ⅶ 眼及び付属器の疾患」が最も高く、それぞれ4,315.5点、4,532.4点となっている。

入院外における傷病分類別1日当たり点数は、一般医療、老人医療とも「XⅣ 尿路性器系の疾患」が最も高く、それぞれ1,722.1点、2,288.5点となっている。(表7)

表7 入院 - 入院外・一般医療 - 老人医療別にみた傷病分類別1日当たり点数
(平成16年6月審査分)

傷病分類	入 院		入 院 外	
	一般医療	老人医療	一般医療	老人医療
総 数	2 280.6	2 070.9	659.9	721.6
I 感染症及び寄生虫症	2 532.4	2 073.9	545.9	531.9
II 新生物	3 430.0	2 698.3	1 430.9	1 493.9
気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	2 871.9	2 446.0	2 158.5	1 204.6
乳房の悪性新生物 (再掲)	3 645.4	2 600.2	2 241.7	1 447.9
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3 057.7	2 488.2	763.5	804.2
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	2 308.1	1 859.1	859.6	835.1
糖尿病 (再掲)	2 273.0	1 881.6	1 012.9	944.9
V 精神及び行動の障害	1 116.9	1 148.1	671.1	716.5
精神分裂病、分裂病型障害及び妄想性障害 (再掲)	1 066.5	1 031.3	782.6	696.5
VI 神経系の疾患	1 943.7	1 866.3	707.4	703.5
Ⅶ 眼及び付属器の疾患	4 315.5	4 532.4	568.4	599.9
白内障 (再掲)	5 057.7	4 738.9	614.3	591.5
Ⅷ 耳及び乳様突起の疾患	2 945.4	2 281.9	387.0	350.6
IX 循環器系の疾患	3 429.8	2 165.9	725.0	691.6
高血圧性疾患 (再掲)	2 032.0	1 723.7	669.5	666.4
虚血性心疾患 (再掲)	7 085.6	3 399.5	944.0	846.1
脳梗塞 (再掲)	2 390.7	1 774.2	778.0	671.0
X 呼吸器系の疾患	2 871.1	2 232.2	472.8	737.2
肺炎 (再掲)	2 709.7	2 397.7	758.1	1 072.8
急性気管支炎及び急性細気管支炎 (再掲)	2 836.8	1 495.7	486.0	571.6
喘息 (再掲)	2 669.3	1 797.8	554.3	760.8
XⅠ 消化器系の疾患	2 881.7	2 417.0	753.4	671.5
XⅡ 皮膚及び皮下組織の疾患	2 525.4	1 826.4	397.4	375.4
皮膚炎及び湿疹 (再掲)	2 794.3	2 299.0	390.8	330.4
XⅢ 筋骨格系及び結合組織の疾患	2 433.8	1 871.9	390.0	349.4
関節症 (再掲)	2 763.4	2 439.7	362.1	359.1
XⅣ 尿路性器系の疾患	3 126.1	2 502.4	1 722.1	2 288.5
腎不全 (再掲)	3 132.2	2 566.7	3 233.1	3 047.3
尿路結石症 (再掲)	4 229.2	3 797.2	1 477.8	1 139.1
XⅤ 妊娠、分娩及び産じょく	2 458.5	-	555.3	-
XⅨ 損傷、中毒及びその他の外因の影響	2 420.3	2 062.5	471.3	484.9
骨折 (再掲)	2 265.7	2 037.6	477.7	500.7
その他の傷病	2 886.3	2 028.3	671.9	742.6

注: 1) 傷病分類は、「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正」(ICD-10)を準用した。

2) 「その他の傷病」は、「周産期に発生した病態」「先天奇形、変形及び染色体異常」及び「症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」である。

〔歯科診療〕

5 診療行為の状況

1件当たり点数は、1,401.2点で、前年に比べ51.4点、3.5%減少している。

1日当たり点数は、618.0点で、前年に比べ22.4点、3.8%増加している。診療行為別にみると、「歯冠修復及び欠損補綴」285.1点(構成割合46.1%)が最も高く、次いで「処置」95.1点(15.4%)、「初・再診」84.7点(13.7%)の順となっている。

1件当たり日数は2.27日で、前年に比べ0.17日減少している。(表8、図7)

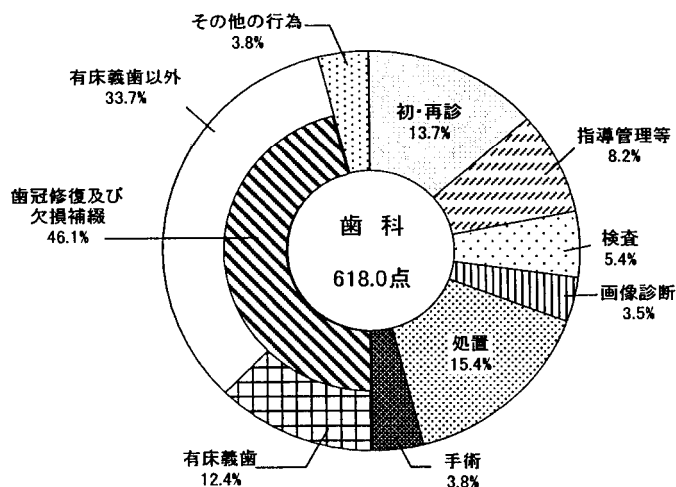
表8 診療行為別にみた1件当たり点数、1日当たり点数、1件当たり日数

(各年6月審査分)

診療行為	1件当たり点数				1日当たり点数			
	平成16年	平成15年	対前年比		平成16年	平成15年	対前年比	
			増加点数	増加率(%)			増加点数	増加率(%)
総数	1 401.2	1 452.6	△ 51.4	△ 3.5	618.0	595.6	22.4	3.8
初・再診	191.9	188.2	3.8	2.0	84.7	77.2	7.5	9.7
指導管理等	114.8	105.1	9.7	9.2	50.6	43.1	7.5	17.5
在宅医療	13.4	17.0	△ 3.6	△ 21.2	5.9	7.0	△ 1.1	△ 15.3
検査	75.8	76.5	△ 0.7	△ 0.9	33.4	31.4	2.1	6.6
画像診断	49.7	47.9	1.8	3.8	21.9	19.6	2.3	11.6
投薬	26.6	25.8	0.8	3.2	11.7	10.6	1.2	11.1
注射	1.3	1.5	△ 0.3	△ 18.4	0.6	0.6	△ 0.1	△ 12.2
リハビリテーション	0.2	0.2	△ 0.1	△ 28.3	0.1	0.1	△ 0.0	△ 22.9
処置	215.7	226.6	△ 10.8	△ 4.8	95.1	92.9	2.2	2.4
手術	53.3	54.9	△ 1.6	△ 3.0	23.5	22.5	1.0	4.4
麻酔	3.4	4.0	△ 0.6	△ 15.7	1.5	1.6	△ 0.2	△ 9.3
放射線治療	0.2	0.1	0.1	71.7	0.1	0.1	0.0	84.7
歯冠修復及び欠損補綴	646.3	693.9	△ 47.6	△ 6.9	285.1	284.5	0.5	0.2
歯科矯正	1.8	0.4	1.4	314.2	0.8	0.2	0.6	345.5
入院料等	6.9	10.5	△ 3.6	△ 34.0	3.1	4.3	△ 1.2	△ 29.0
(1件当たり日数)	(2.27)	(2.44)						

図7 診療行為別にみた1日当たり点数の構成割合

(平成16年6月審査分)



注: その他の行為は、「在宅医療」「投薬」「注射」「リハビリテーション」「麻酔」「放射線治療」「歯科矯正」及び「入院料等」である。

6 一般医療と老人医療別にみた診療行為の状況

1件当たり点数は、一般医療 1,334.0 点、老人医療 1,808.0 点となっている。

1日当たり点数は、一般医療 600.4 点、老人医療 711.4 点で、年齢階級別にみると、「80 歳以上」783.8 点が最も高く、次いで「70～79 歳」674.5 点となっており、「0～14 歳」458.5 点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、老人医療は、一般医療と比べて「歯冠修復及び欠損補綴」の割合が多く、「処置」「初・再診」の割合が少なくなっている。

1件当たり日数は、一般医療 2.22 日、老人医療 2.54 日となっている。(表9、図8)

表9 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた診療行為別 1 件当たり点数、1 日当たり点数、1 件当たり日数

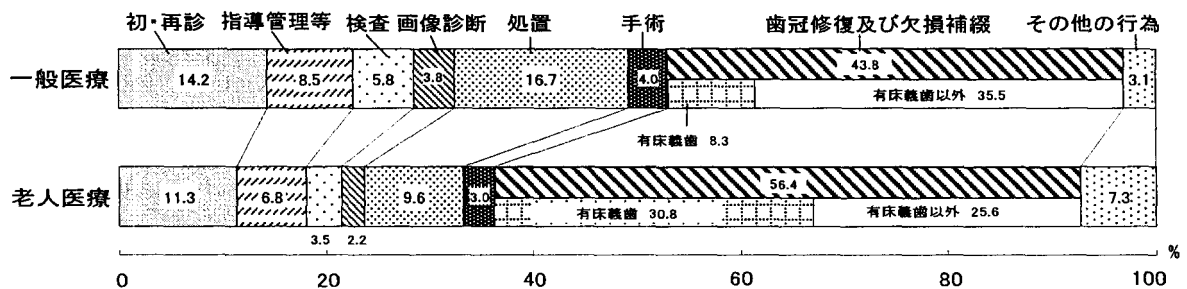
(平成16年6月審査分)

診療行為	一般医療	老人医療	年齢階級				
			0～14歳	15～39歳	40～69歳	70～79歳	80歳以上
1 件 当 た り 点 数							
総数	1 334.0	1 808.0	794.8	1 349.7	1 441.9	1 747.3	1 938.3
初診	190.0	203.5	211.8	185.8	187.2	198.3	206.7
再診	113.4	123.1	68.4	126.3	118.3	124.3	110.0
指導管理	2.2	81.3	-	1.5	4.0	32.2	174.5
在宅医療	78.0	62.6	15.9	96.9	83.9	66.6	56.7
検査	51.4	39.6	25.0	69.1	48.7	43.9	34.0
画像診断	26.1	29.4	9.2	28.8	29.0	29.9	25.7
投薬	1.1	2.5	0.1	1.0	1.3	1.7	4.1
注射	0.2	0.2	0.7	0.1	0.1	0.1	0.3
リハビリテーション	222.8	172.9	112.2	260.7	232.2	182.9	153.1
処置	53.0	54.7	24.3	52.8	60.2	59.0	42.0
手術	3.6	2.1	2.9	5.0	3.1	2.2	1.6
麻酔	0.2	0.6	-	0.1	0.2	0.6	0.6
放射線治療	584.6	1 019.7	318.3	509.1	668.5	993.2	1 105.3
歯冠修復及び欠損補綴	2.1	-	3.2	5.6	0.0	0.4	-
歯科矯正	5.4	16.0	2.6	7.0	5.2	12.1	23.7
入院料等							
1 日 当 た り 点 数							
総数	600.4	711.4	458.5	611.6	619.1	674.5	783.8
初診	85.5	80.0	122.2	84.2	80.4	76.6	83.6
再診	51.0	48.4	39.5	57.3	50.8	48.0	44.5
指導管理	1.0	32.0	-	0.7	1.7	12.4	70.6
在宅医療	35.1	24.6	9.2	43.9	36.0	25.7	22.9
検査	23.1	15.6	14.4	31.3	20.9	16.9	13.8
画像診断	11.8	11.6	5.3	13.0	12.5	11.5	10.4
投薬	0.5	1.0	0.1	0.4	0.6	0.7	1.6
注射	0.1	0.1	0.4	0.1	0.0	0.0	0.1
リハビリテーション	100.3	68.0	64.8	118.1	99.7	70.6	61.9
処置	23.9	21.5	14.0	23.9	25.9	22.8	17.0
手術	1.6	0.8	1.7	2.3	1.3	0.9	0.6
麻酔	0.1	0.2	-	0.0	0.1	0.2	0.3
放射線治療	263.1	401.2	183.7	230.7	287.0	383.4	446.9
歯冠修復及び欠損補綴	0.9	-	1.8	2.5	0.0	0.2	-
歯科矯正	2.4	6.3	1.5	3.2	2.2	4.7	9.6
入院料等							
1 件 当 た り 日 数							
総数	2.22	2.54	1.73	2.21	2.33	2.59	2.47

注: 「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。

図8 一般医療 - 老人医療別にみた診療行為別 1 日当たり点数の構成割合

(平成16年6月審査分)



注: その他の行為は、「在宅医療」「投薬」「注射」「リハビリテーション」「麻酔」「放射線治療」「歯科矯正」及び「入院料等」である。

7 傷病分類別にみた1日当たり点数の状況

1日当たり点数は、一般医療では「歯の補綴」904.6点が最も高く、次いで「顎の疾患・口内炎等」831.3点となっており、老人医療では「顎の疾患・口内炎等」849.9点、次いで「むしば」846.7点となっている。(表10)

表10 一般医療 - 老人医療別にみた傷病分類別1日当たり点数

		(平成16年6月審査分)	
傷病分類		一般医療	老人医療
総	数	600.4	711.4
む	し	601.5	846.7
歯	髓	579.3	633.5
歯	根	508.2	592.6
歯	周	528.0	540.5
顎	の	831.3	849.9
歯	の	904.6	846.5
そ	の	501.2	441.9

注:1)傷病分類は、「疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回改正」(ICD-10)を準用した。

2)「その他の傷病」は、「歯肉炎等」「その他の歯の疾患」「智歯周囲炎等」「褥瘡性潰瘍等」である。

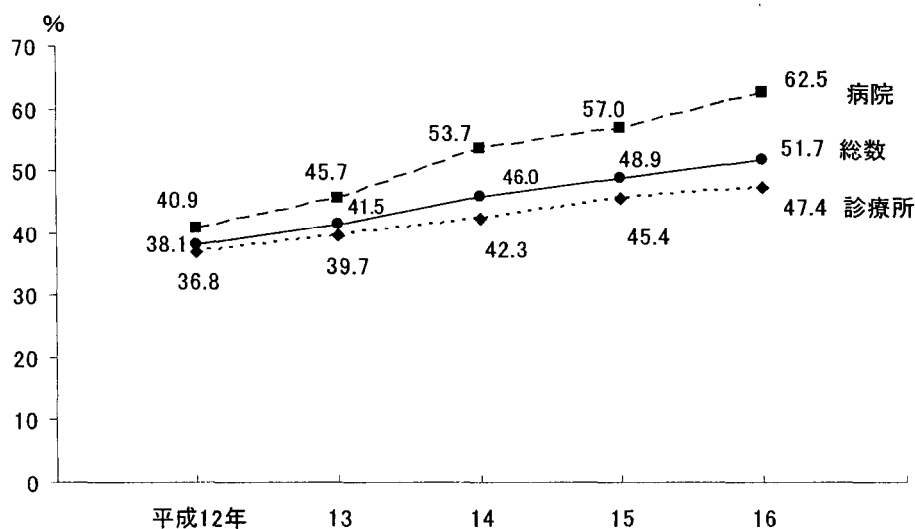
〔院外処方〕

8 院外処方率

医科の入院外における院外処方率は、総数で51.7%となっており、前年(48.9%)に比べ2.8ポイント上昇している。これを病院・診療所別にみると、病院62.5%、診療所47.4%と病院の方が高く、前年に比べそれぞれ5.5ポイント、2.0ポイント上昇している。(図9)

図9 病院 - 診療所別にみた医科の院外処方率の年次推移

(各年6月審査分)



注:院外処方率とは、「処方料」及び「処方せん料」の合計算定回数に対する「処方せん料」算定回数の割合である。

〔薬局調剤〕

9 調剤行為の状況

1件当たり点数は936.9点で、前年に比べ12.1点、1.3%減少している。

処方せんの受付1回当たり点数は649.6点で、前年に比べ32.4点、5.3%増加している。調剤行為別にみると、「薬剤料」460.5点が最も高く、次いで「調剤技術料」150.5点、「指導管理料」37.4点となっている。

1件当たり受付回数は1.44回で、前年に比べ0.10回減少している。

一般医療、老人医療別にみると、1件当たり点数は一般医療805.5点、老人医療1,266.4点、受付1回当たり点数は一般医療580.3点、老人医療802.5点となっており、いずれも老人医療が高くなっている。受付1回当たり点数の調剤行為別の構成割合をみると、一般医療、老人医療ともに「薬剤料」の割合が約7割となっている。

(表11・12、図10)

表11 調剤行為別にみた1件当たり点数、受付1回当たり点数、1件当たり受付回数

(各年6月審査分)

調剤行為	1件当たり点数				受付1回当たり点数			
	平成16年	平成15年	対前年比		平成16年	平成15年	対前年比	
			増加点数	増加率(%)			増加点数	増加率(%)
総数	936.9	949.0	△ 12.1	△ 1.3	649.6	617.2	32.4	5.3
調剤技術料	217.1	227.1	△ 10.1	△ 4.4	150.5	147.7	2.8	1.9
指導管理料	54.0	56.6	△ 2.6	△ 4.6	37.4	36.8	0.6	1.7
薬剤料	664.2	664.1	0.1	0.0	460.5	431.9	28.6	6.6
特定保険医療材料料	1.4	1.0	0.4	35.1	1.0	0.7	0.3	44.0
(1件当たり受付回数)	(1.44)	(1.54)						

表12 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた調剤行為別1件当たり点数、受付1回当たり点数、1件当たり受付回数

(平成16年6月審査分)

調剤行為	総数	一般医療	老人医療	年齢階級				
				0~14歳	15~39歳	40~69歳	70~79歳	80歳以上
1件当たり点数								
総数	936.9	805.5	1 266.4	489.2	622.1	982.5	1 215.6	1 283.9
調剤技術料	217.1	192.2	279.4	183.6	156.4	207.1	260.4	302.0
指導管理料	54.0	52.8	56.9	61.8	51.0	50.3	55.8	57.5
薬剤料	664.2	558.9	928.2	243.7	414.1	722.5	897.4	923.1
特定保険医療材料料	1.4	1.4	1.3	0.0	0.6	2.5	1.4	0.7
受付1回当たり点数								
総数	649.6	580.3	802.5	320.7	479.5	716.9	799.5	778.8
調剤技術料	150.5	138.5	177.1	120.3	120.5	151.1	171.3	183.2
指導管理料	37.4	38.0	36.0	40.5	39.3	36.7	36.7	34.9
薬剤料	460.5	402.6	588.2	159.8	319.2	527.2	590.2	559.9
特定保険医療材料料	1.0	1.0	0.9	0.0	0.4	1.8	0.9	0.4
1件当たり受付回数								
	1.44	1.39	1.58	1.53	1.30	1.37	1.52	1.65

注: 「総数」、「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。

図10 一般医療 - 老人医療別にみた調剤行為別受付1回当たり点数の構成割合

(平成16年6月審査分)

